

平成25年度 歴史民俗資料館の管理運営に対する評価票

所管課：教育委員会 社会教育課（現在：地域教育課）

評価対象期間：平成25年4月1日～平成26年3月31日

評価委員会開催日：平成26年9月11日

1 指定管理者

指定管理者	株式会社日立ビルシステム
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日（5年間）
施設概要	発掘による埋蔵文化財や、市民から寄贈された農具、民具などの民俗資料が多くあることから、これらを収蔵し、展示、公開するとともに、長年にわたり伝えられてきた民話の紹介などイベントの開催やリーフレットの発行などにより、特徴ある郷土の歴史、文化をより深く理解し、誇りと親しみを感じてもらうことを目的とする。
指定管理料	9,987千円（5年間計49,935千円）

2 管理運営の内容

項目	25年度の状況
運営状況	○平等利用のための手法 ・職員に対する接客教育や、案内資料の整備、ミーティングを通じた意思統一などにより来館者への平等で均一なサービスの提供に努めた。 ・車椅子で来館の方は介助者と来館されるため、職員は介助の妨げにならないように配慮している。障がい者が使いやすい共用トイレがあるので、トイレ使用目的の方も多く、公共施設としての役割を果たしている。高齢者施設や聴覚言語機能障がい者施設の団体見学があり、手話通訳の方と共に説明を行った。 ○自主事業の展開 ・市との共催も含め、施設の特色を生かし、目的に沿ったイベントを重点に計画し、研修室を利用した児童向けの「手作りに挑戦」や、大人向け「フラワーアレンジメント」「歴史講座 歩いて学ぶ考古学講座」など各種イベントを年間計24回開催した。夏の「勾玉づくりイベント」では、博物館実習生と協力して実施した（195人の参加）。すべて職員が開発したものを手づくりで準備しているのが大きな特徴である。 ・有料自主事業講座として歴史講座「歩いて学ぶ考古学講座」は、2年目の入門考古学講座を実施、本年度は「弥生時代」の座学を3回と8回を大阪府内と兵庫県内の弥生時代の遺跡を散策した。各遺跡から発掘調査で出土した遺物を各市教育局文化財施設及び博物館等で手にふれた。（参加者32名） ○情報提供 ・資料館のホームページにて、施設の紹介や催し物その他諸情報について、親しみのある表現で最新情報の公開に努めた。 ・ポスター及び市の広報紙や北河内のミニコミ誌で催しの案内を掲載し、広く市民の方々にお知らせすることにより、来館者の誘致を図った。 ・各小学校（7校）及び近隣の保育所に案内状を配布し、施設活用のPRに努めた。小学校3年生については、全7校と近隣市1校が来館して「昔のくらし」学習を行い、毎年暇古文化研究保存会のご協力を得て昔の道具に触れる学習を進めている。6年生の「暇の歴史学習」については、ゆとり教育が解消されたことにより授業数が増加したことが原因としてここ数年は、2校の来館学習となっている。 ・ポスター、市広報誌、当館HPなどにイベント情報を掲載。発掘調査速報展を随時開催。八戸市議員及び愛媛県松前町議員一行の行政視察で資料館内を案内した。韓国光州MBCテレビが「馬韓」、NHK福岡放送局が「四條畷の馬飼」を取材。読売新聞と産経新聞に特別展「四條畷の古墳時代」の記事が掲載され特別展で多数の来館があった。平成25年度の指定有形

	文化財に中野遺跡出土の井戸曲物が指定されたが、展示会は空調工事のため平成 26 年度に開催を予定。 ・ 弊社の HP に掲載し、指定管理業務を通じて四條畷の歴史的遺産を全国に紹介を行った。 ・ こども歴史「わたしたちの四條畷」と大人版歴史「歴史とみどりのまち ふるさと四條畷」の資料館内での販売も継続した。 ○安全確保対策 ・ 常に会社と連絡をとり、業務フロー、緊急連絡先等の掲示と、ミーティングを適時実施し、常に状況に合わせた管理運営に努めた。特に安全面の注意事項は文書で確認し、注意を払っている。火災消火訓練・消防署通報訓練及び緊急時の避難訓練は毎年実施している。 ・ 災害の際、弊社の緊急ネットワークが機能するよう緊急連絡先の掲示などを行った。 ・ トラブル発生時用の緊急連絡先及び緊急連絡対応体制の掲示を行った。また、国道 163 号沿いの弊社の部品センターによるバックアップ体制を整えている。
維持管理状況	○ 保守点検 ・ 各設備の稼動状況に合わせた最適なメンテナンス計画を立て実施した。資料館開館 28 年を迎え、四條畷市教育委員会がすべての空調設備改修工事を実施。その工事期間の閉館を利用して展示ケース内のすべての壁紙取り替えの修繕を行った。また、玄関マットの新調を行った。 ・ 職員による蛍光灯交換、機器の状況点検など職員を動員した、効果的な維持保全に努めた。 ・ 消防設備点検と空調設備点検を同時作業にて実施することにより、作業の効率化を図った。 ○環境保全への取組み ・ 年間を通した空調温度の見直し、O A 機器の適正使用、こまめな消灯の実施など、環境保全の推進と経費削減に努めた。 ・ ゴミ箱の共用化、種類別の設置などによりゴミの分別と少量化に努めた。 ・ 紙印刷媒体を回覧して共有することで、紙の使用量を削減した。 ・ 毎年四條畷市役所生活環境課へ当年度の環境負荷実態把握調査報告を提出している。提出資料を基にして職員ミーティングなどで環境負荷への意識向上を図ると共に、利用者向けにはポスターの掲示等により環境意識の向上を図った。
利 用 状 況	今年度は、読売新聞と産経新聞に特別展の記事が掲載され、韓国光州MBCテレビや、NHK福岡放送局の取材があるなどマスコミの注目もあり、市内はもとより市外からも多くの来館者があった。来館者には、指定管理者職員の説明でゆっくりと見学していただき、四條畷の歴史を広くPRすることができた。また、例年どおり6年生の「歴史」と3年生の「昔のくらし」の校外学習で、畷古文化研究保存会の会員の協力を得て子供たちが実物に触れる体験学習を実施した。 四條畷市教育委員会が空調設備改修工事を行い、開館日数が例年より 20 日減少したため、前年度と比較し利用者数は全体で 7.9%の減少となったが、年間来館者数 10,000 名の目標を達成できた。 ・ 学校・保育所 1,113 人 (34.6%減) ・ 一般団体 1,632 人 (30.2%増) ・ 個人 7,333 人 (9.5%減) 合計 10,078 人 (7.9%減) ※開館日数 264 日 (20 日減)
収 支 状 況	当年度収入 10,055,800 円（指定管理料収入:9,987,000、自主事業収入:68,800）に対し、支出 9,961,161 円、収支は 94,639 円の黒字。

3 利用者へのアンケート調査

項 目	2 5 年度の状況
調査の実施内容	対象：施設利用者 調査期間：平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 2 月 23 日 調査方法：アンケート用紙と箱を展示室に設置。自由に記入してもらう 回答件数：179 件
調 査 の 結 果	スタッフの対応：「満足」が約 85% 「やや満足」を含めると約 96%（「不満」「やや不満」は 0%） 展示の解説への対応：「分かった」が約 70% 「だいたい分かった」を含めると約 99%
主な苦情・意見等	【 意見・要望、イベントの希望など 】 ○ 小学生以下 ・ まが玉づくり。 ・ 歴史をもっと学びたい。 ・ ミイラがかざっていてビックリした。 ・ もっと遊べるコーナーがほしい。 ・ いつきても楽しい。 ○ 中学・高校生 ・ もう少し机やイスを増やしてほしい。 ・ 歴史が好きなので勉強になりました。また来たいと思います。ありがとうございました。 ○ 19～39 歳 ・ とても興味深かった。埴輪とか見たことがなかったから、本物見れて良かった。 ・ 勾玉の手作りイベントは子供が大変喜んでいました。良かったです。スタッフの人も丁寧に教えてくれた。 ○ 40～59 歳 ・ 毎年冊子を楽しみにしています。実物を見ながら先生のお話を聞かせて頂くととても良くわかります。 ・ 館長さんの大変丁寧な説明をいただきました。発掘の体験も踏まえて分かりやすく勉強になりました。 ・ 細かい説明をしていただき有難うございました。次回は特別展に来たいと思います。 ○ 60 歳以上 ・ 古代から四條畷に人々が住み馬飼の里で栄え、色々な遺物が残って保存されている事が素晴らしいです。 ・ 毎年展示の工夫されていて感謝いたします。館長さんをはじめいつも親切丁寧に説明、案内頂き有難うございます。来年も楽しみにしています。 ・ 四條畷について楽しい歴史学ばせて頂きました。これからも楽しみにしています。頑張ってください。 ・ 馬の産地にはビックリ。現代は競馬の馬のイメージしか無いので昔は農耕馬が活躍が大きかったんだなー ・ すぐれた資料館という印象を受けました。 ・ 展示数もこれぐらいが見やすくちょうどいいかと思いました。 ・ 素敵なプレゼント有難うございました。いつも佐野さんの絵を楽しみにしています。心が癒されます。館長さんの話、とてもわかり易く楽しく学ばせて頂きました。毎年 11 月が楽しみで待ち遠しいです。 ・ 来年は午年、馬のハニワでカレンダー作成されてはいかがですか！全国的に有名な馬のハニワですから ・ 優しくあたたかい絵、文字の解説が心に残ります。益々のご活躍を願っております。説明は大変良かった ・ 立派な資料とも土産を頂き有難うございます。説明文以上の詳しい解説で古代史のおさらいも含めて勉強になりました。 ・ 知人、友人と一緒に又来館します。

4 施設の評価

管理運営の総合評価	○5 ●4 ○3 ○2 ○1
講 評	来館者へのアンケート調査結果によると、スタッフの対応については96%の方が「満足」・「やや満足」という結果で、昨年度と比べると3%増加している。また展示の解説への対応は99%の方が「分かった」「だいたい分かった」と高評価を得ており、高く評価できる。 利用者数は、空調設備改修工事を実施したことにより開館日数が例年より20日減少したため、前年度と比較し利用者数は全体で7.9%の減少となったが、年間来館者数10,000名の目標を達成できている。また、市内はもとより市外からも多くの来館者があったことは、マスコミなどへの情報発信に努めた結果と考えられ、リピーターが多くみられることは、展示方法や内容に創意工夫されている結果と考える。 今後とも来館者に親切な説明でゆっくりと見学していただき、四條畷の歴史を広くPRしていただきたい。また、小学生に対しての体験学習を実施していることは、子供たちへ郷土の歴史・文化に触れる機会を提供するという点で今後とも継続していただきたい。 施設の管理面では、企業努力により経費削減に努力し、収支が黒字となっている点や、空調設備改修工事期間の閉館を利用して展示ケース内のすべての壁紙取り替え修繕や、玄関マットの新調を行っているなど、保守管理に努めた点、徹底したごみの削減や節電に努めることにより環境面への配慮も徹底されている点、いずれも高く評価できる。 以上の内容から「計画内容を上回るために大変努力している」と判断し、評価を「4」とする。

(参考) 評価の基準

- 5 計画内容を上回る結果（担当部局として非常に満足できる結果）
- 4 計画内容をやや上回る結果（担当部局として満足できる結果）
- 3 計画内容どおりの結果（担当部局として妥当と判断する結果）
- 2 計画内容をやや下回る結果（担当部局として不満が残る結果）
- 1 計画内容を下回る結果（担当部局として非常に不満が残る結果）